

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム

第 2 回会議

日時：令和 7 年 3 月 27 日（木）午後 5 時～午後 7 時 30 分

場所：ムトスぷらざ 2 階多目的ホール

次 第

1. 開会挨拶
2. 情報共有パート
 - ・ 第 1 回会議の振返り、本日のワークショップの進め方について（NTT データ経営研究所）
 - ・ 飯田・リニア駅前広場の一部供用開始に向けて（飯田市）
 - ・ 質疑応答
3. ワークショップパート
 - テーマ：「賑わい創出に向けた施設整備及び広場活用」について
4. 講評
5. 閉会挨拶

【配布資料】

- 次第
- 資料 1「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第 2 回会議ご説明資料」
- 資料 2「飯田・リニア駅前広場の一部供用開始に向けて」

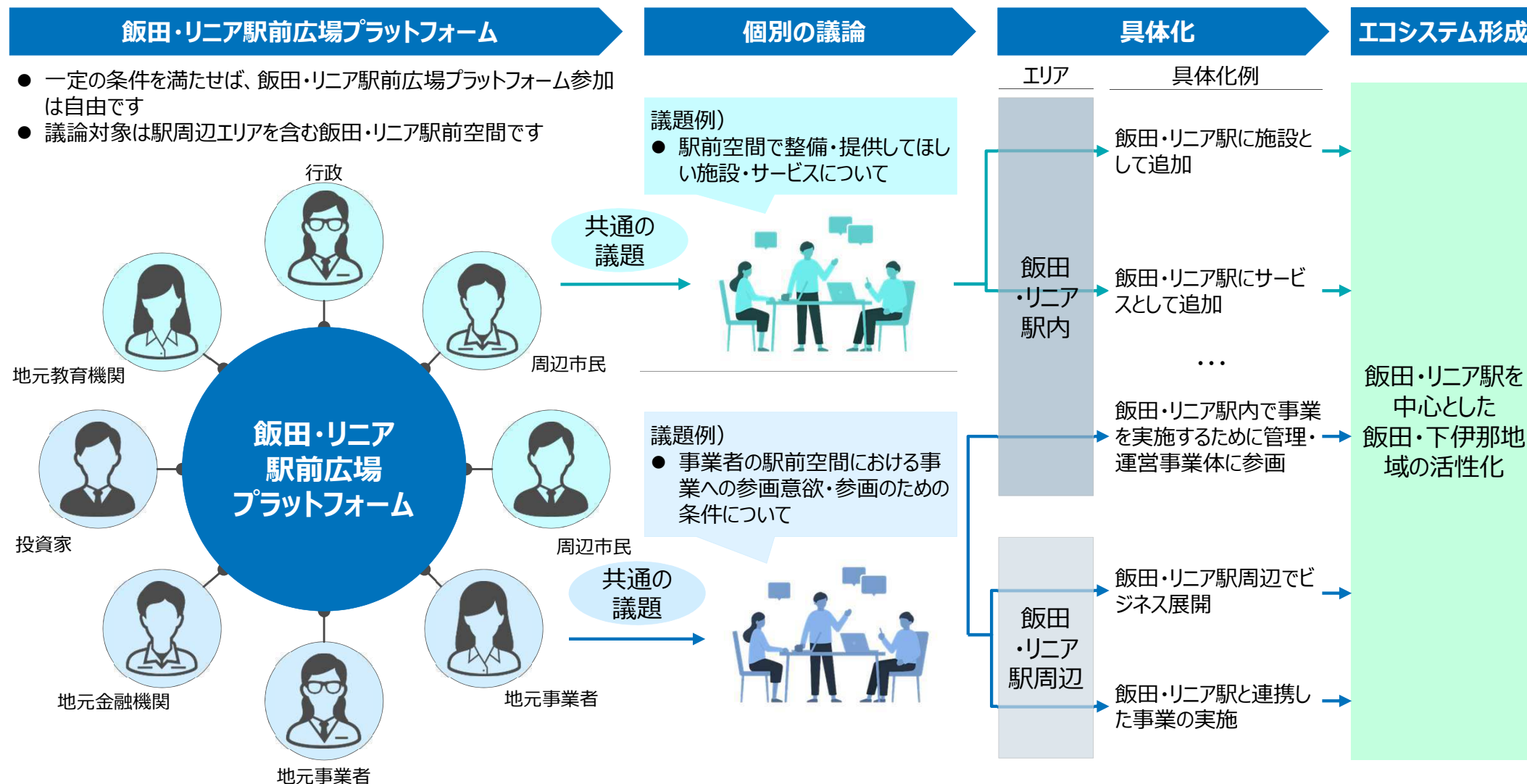
飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第2回会議 ご説明資料

2025年3月27日

NTTデータ経営研究所 社会・環境システム戦略コンサルティングユニット

1.「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」について

飯田・リニア駅前広場プラットフォームとは、市民や地元事業者等の多様な関係者が自由に参加し、飯田・リニア駅内での管理運営事業体の設立・運営に向けた議論の他、飯田・リニア駅を中心とした飯田・下伊那地域の活性化に寄与する取組の創出を促す「エコシステム」の形成を目指す組織です



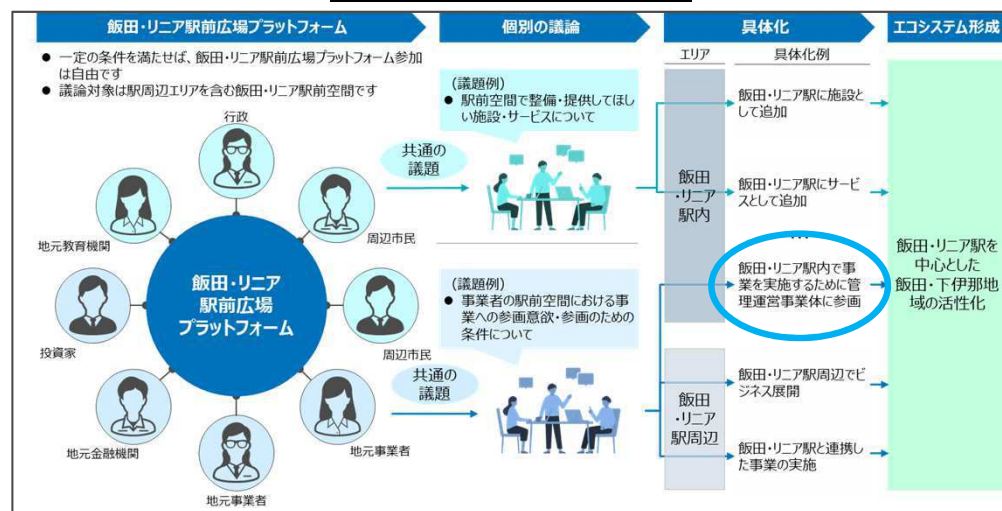
2.「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」と「管理・運営事業体」について

「管理・運営事業体」とは飯田・リニア駅前広場空間で事業を実施し、駅前広場空間の管理・運営を担う事業者の集合体であり、飯田・リニア駅前広場プラットフォームにおける具体化の営みにより生み出されます

具体化における管理・運営事業体の概要

- 管理・運営事業体は、飯田・リニア駅前広場プラットフォームに参加し、飯田・リニア駅前広場空間内の事業実施を志向し、管理運営事業体の理念に共感した事業者から構成される組織体であり、具体化の営みによって生み出される

管理・運営事業体の位置づけ



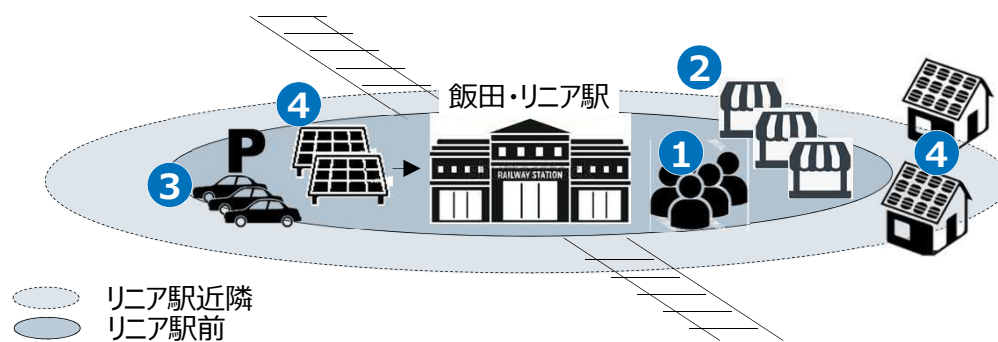
- 管理・運営事業体は賑わいの創出に向けた経済的基盤の確保が期待されており、その実現のために運営事業体は駅前+近隣のインフラ事業(貸借・駐車・エネルギー等)で基盤収益を確保しながらイベントなど収益変動が大きい地域貢献事業を行う絵姿が考えられる

管理・運営事業体の事業メニュー例

- 管理・運営事業体による飯田・リニア駅前広場での事業は大きく地域の賑わいに関わる地域貢献事業とインフラ事業を想定しています

【事業構成例】

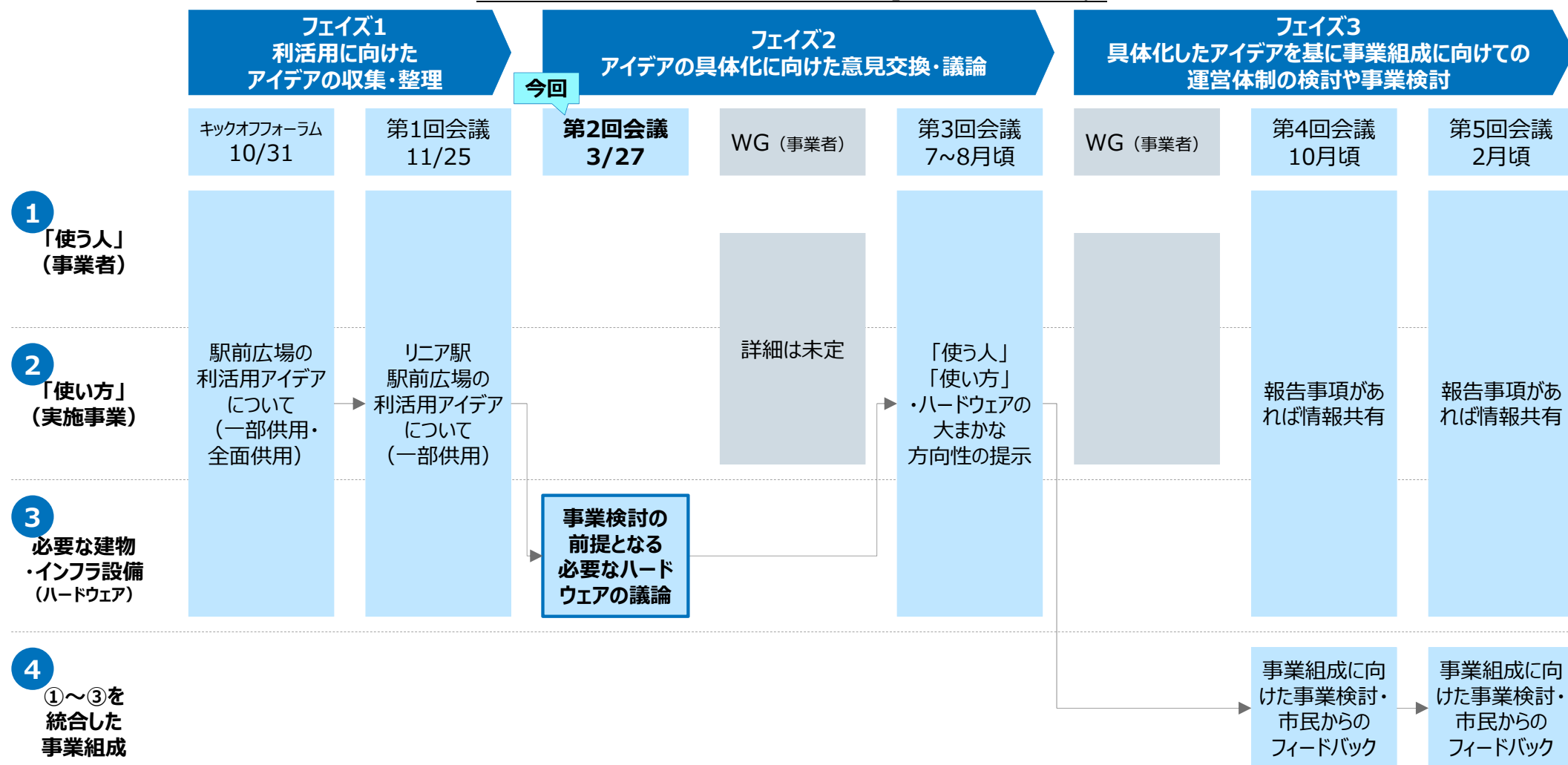
- 1 イベント等地域貢献事業**
 - ・ 駅前広場を活用した蚤の市等イベント事業
- 2 賃貸借事業**
 - ・ テナント企業への賃貸借事業
- 3 駐車場事業**
 - ・ 駅前駐車場を用いたパーキング事業
- 4 エネルギー事業**
 - ・ 周辺建物・土地等を活用した太陽光発電事業
 - ・ 駅前施設並びに周辺建物への小売電気事業 etc...



3.今後の「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」の進め方について

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム会議は今年度2回開催し、来年度は3~4回の開催を予定しています。また、来年度からプラットフォーム会員を対象とした「ワーキンググループ（WG）」にて、駅前広場の整備に向けた個別検討・協議を実施していく予定です

今後の「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」の進め方（イメージ）



4.飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回会議の振り返り

11/25 飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回会議を開催し、事業者を中心とした約60名（事務局含む）の方々にご参加いただきました

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム第1回会議 開催実績

会議情報	日時	● 2024年11月25日（月）15時～16時30分											
	会場	● エス・バード B棟会議室											
	参加者数	● 約 60 名（事務局含む）											
実施したプログラムの概要	「情報共有」パート	● 飯田市リニア整備課より、リニア駅前広場の整備方針や、一部供用開始時点での駅前広場周辺道路の整備状況（予定）について、立体模型図を示しながら情報共有いたしました ● NTTデータ経営研究所より、飯田・リニア駅前広場プラットフォームの概要や、10/31に開催したキックオフフォーラムで参加者の皆さまから頂いた意見・アイデアについてご紹介いたしました											
	ワークショップ	● ご来場の皆様に6グループに分けていただき、「一部供用開始時点（2028年度～）での駅前広場の利活用」をテーマに、広場の活用、展開していく事業やサービスについて議論しました ➢ 参加者の皆様には、「一部供用開始時点（2028年度～）での飯田・リニア駅前広場の活用、展開していく事業やサービス等のアイデアを付箋へ書き出し、他の参加者の方へご説明いただき、飯田・リニア駅前広場のマップ図面に貼り付けていただきました ➢ その後、貼り付けられたアイデアを「分類」・「融合」させる等によってアイデアを深掘りする議論を行い、テーブルごとに全体へ共有しました ➢ ワークショップにおいて生み出されたアイデアを貼った図面は、飯田市ホームページ上にて公開しております 【頂戴したアイデアの一部（抜粋）】 <table><tr><td>● 飲食・物販</td><td> オシャレな道の駅、カフェ など</td></tr><tr><td>● 観光</td><td> 情報発信拠点、ツリーハウスなど</td></tr><tr><td>● イベント</td><td> 焼肉のイベント、祭り、各市町村のイベント、野外音楽祭 など</td></tr><tr><td>● 交通</td><td> 駐車場、シェアカー、水素ステーション、ソーラーカーポートなど</td></tr><tr><td>● 設備</td><td> トイレ、大きなビジョン（モニター）の設置、展望台、ウォーキングコースなど</td></tr><tr><td>● リニア関連</td><td> 工事見学、リニア線路歩きツアー、リニア博物館、トンネルライブ など</td></tr></table>	● 飲食・物販	オシャレな道の駅、カフェ など	● 観光	情報発信拠点、ツリーハウスなど	● イベント	焼肉のイベント、祭り、各市町村のイベント、野外音楽祭 など	● 交通	駐車場、シェアカー、水素ステーション、ソーラーカーポートなど	● 設備	トイレ、大きなビジョン（モニター）の設置、展望台、ウォーキングコースなど	● リニア関連
● 飲食・物販	オシャレな道の駅、カフェ など												
● 観光	情報発信拠点、ツリーハウスなど												
● イベント	焼肉のイベント、祭り、各市町村のイベント、野外音楽祭 など												
● 交通	駐車場、シェアカー、水素ステーション、ソーラーカーポートなど												
● 設備	トイレ、大きなビジョン（モニター）の設置、展望台、ウォーキングコースなど												
● リニア関連	工事見学、リニア線路歩きツアー、リニア博物館、トンネルライブ など												



参考 | 飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回会議 振り返り通信

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回会議の開催概要は、飯田市WEBサイトにも掲載されています。ぜひご覧ください

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム第1回会議 振り返り通信

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム
-振り返り通信 第1号

- 11/25（月）にエス・バードにて、飯田・リニア駅前広場プラットフォームの第1回会議を開催しました
- キックオフフォーラム（10/31開催）の振り返りや、事務局からの情報共有の他、来場者の皆さまに、「一部供用開始（2028年度～）時点での駅前広場の利活用」について討議いただきました

飯田・リニア駅前広場プラットフォームとは…

- 飯田・リニア駅前広場プラットフォームとは、市民や地元事業者等の多様な関係者が自由に参加し、飯田・リニア駅内での管理運営事業体の設立・運営に向けた議論の他、飯田・リニア駅を中心とした飯田・下伊那地域の活性化に寄与する取組の創出を促す「エコシステム」の形成を目指す組織です

第1回プラットフォーム開催概要

日時	2024年11月25日（月）15時～16時30分
会場	エス・バード B棟会議室
参加者数	約60名（事務局含む）
主なプログラム	「情報共有」パート 1. 飯田・リニア駅前広場の整備方針について（飯田市より） 2. 飯田・リニア駅前広場プラットフォームの概要及び、キックオフフォーラムの振り返りについて（NTTデータ経営研究所より） 「ワークショップ」パート 3. 一部供用開始時点での広場利活用について～

プラットフォームの様子

「情報共有」パート

NTTデータ経営研究所より、飯田・リニア駅前広場プラットフォームの概要や、10/31に開催したキックオフフォーラムで参加者の皆さまから頂いた意見・アイデアについて、ご紹介いたしました

「ワークショップ」パート

ご来場の皆さまに6グループに分かれていただき、「一部供用開始時点（2028年度～）での駅前広場の利活用」をテーマに、広場の活用、展開していく事業やサービスについて議論しました

飯田・リニア駅の立体模型を見ながらアイデアを検討するテーブルも

付箋が貼り付けられたマップ図面（駅前広場/駅周辺/市内外に分けて貼付）

- 「ワークショップ」パートでは、「一部供用開始時点（2028年度～）での駅前広場の利活用」をテーマとし、広場の活用方法、展開していく事業やサービスについて6グループに分かれて討議を実施しました
- 今回生まれたアイデアの更なる具体化の議論をすべく第2回を2025年2～3月に実施を予定しております

ワークショップの概要

ワークショップで生み出されたアイデア

「ワークショップ」パートでは、「一部供用開始時点（2028年度～）での飯田・リニア駅前広場の活用、展開していく事業やサービスについて付箋へ書き出していただきました

各テーブルで、皆様からそれぞれの付箋についてご説明いただき、飯田・リニア駅前広場のマップ図面に貼り付けていただきました

その後、貼り付けられたアイデアを「分類」「融合」させ、アイデアを深掘りする議論を行い、テーブルごとに全体へ共有しました

【飲食・物販】

オシャレな道の駅、カフェ など

【観光】

情報発信拠点、ツリーハウスなど

【イベント】

焼肉のイベント、祭り、各市町村のイベント、野外音楽祭 など

【交通】

駐車場、シェアカー、水素ステーション、ソーラーカーポートなど

【設備】

トイレ、大きなビジョン（モニター）の設置、展望台、足湯、ウォーキングコース、スケボーパーク など

【リニア関連】

工事見学、リニア線路歩きツアー、リニア博物館、トンネルライブ など

第2回プラットフォーム開催のご案内

日時	2025年2～3月頃	会場	現在調整中
内容	「一部供用開始時点」の駅前広場の活用に向け、展開していく事業やサービスについて、更なる具体化のための議論を参加者の皆様と実施します		
参加方法	日時・会場等の詳細決定後、応募のお知らせを市HPに公開いたしますので、お申込みのほど何卒よろしくお願いいたします キックオフフォーラムや、第1回プラットフォームにご参加されていない方ももちろんご参加いただけます		
皆さまのご参加をお待ちしております			

出典） 飯田市「振り返り通信 第1号」飯田市HPより

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

6

NTT DATA

5.本日のワークショップの進め方について

ワークショップの テーマ

- 「賑わい創出に向けた施設整備及び広場活用」について
(特に、リニア駅前広場に必要“ハードウェア”について考える)

ワークショップの ポイント

- 「駅前広場の賑わいの創出」、「地域経済の好循環」、「まち全体を見るなかで、駅前広場が持つべき機能」の3つの視点を大切にする
- 駅前広場の整備については、好循環を生み出す仕組みをめざす

ワークショップの 進め方

1. 自己紹介 | 5分

2. 個人作業 | 5分

- ① 机上図面（マップ）や過去（キックオフフォーラム・第1回会議）のアイデアを参考にしながら、ご参加の立場（住民の立場 / 事業者の立場）で、飯田・リニア駅前広場空間内で、「住民など駅前広場の利用者」にとってニーズのある取り組み・メニューは何か、「事業者」として実施したい取り組み・メニューは何か について考える
- ② ①にて考えた取り組み・メニューの実現に向けて、必要な「施設（常設/仮設問わず）・設備・インフラ」は何か考える
- ③ その中でも、ご自身が特に実施すべきと考える取り組み・メニューと必要な「施設（常設/仮設問わず）・設備・インフラ」がセットになった“アイデア”を「計3個程度」ポストイットに書き出す

3. グループワーク | 55分

- ① テーブル内でのアイデアの発表 | 20分
 - 住民・事業者のいずれの立場で考えたかを明示のうえ“アイデア”を発表し、机上の図面（マップ）に貼る
- ② 発表された“アイデア”の深掘り | 25分
 - テーブルの皆さんが発表した“アイデア”を共通点や特徴ごとに整理・分類・融合させるなどして“アイデア”を発展させる
 - このとき、取り組み・メニューだけでなく必要な「施設（常設/仮設問わず）・設備・インフラ」もあわせて“アイデア”として深掘りする
 - ▶ 例：飲食店の取組・メニューが複数考えられる→複合施設を整備し電気・ガス・水道を一括管理できる複合施設を整備したい→必要な広さは・・・→・・・
- ③ “アイデア”の絞り込み | 15分
 - テーブルの意見として、特に実施すべきと考える取り組み・メニュー + 必要な「施設（常設/仮設問わず）・設備・インフラ」の“アイデア”を「3 個程度」絞り込んでみてください

イメージ

住民の
立場

事業者
の立場

※ 住民・事業者両方の側面を有する方もいらっしゃると思いますが、アイデア別に立場を変えて記載いただいても構いません



※ 今回は飯田・リニア駅前広場内を対象に考えていただけますと幸いです

参考 | 第1回会議のワークショップで寄せられたアイデア

- 凡例
- : 飯田・リニア駅前広場内に係る項目
 - : 二次交通など広場内ー広場外にまたぐ項目
 - : 飯田・リニア駅前広場外に係る項目

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回 会議 ワークショップで寄せられたアイデア（概要）

飯田・リニア駅前広場外

教育機関・事業者の賑わいの拠点

- **教育機関の賑わい**
 - 教育機関（小中高大）の誘致
 - 実証事業の実施
- **事業者の賑わい**
 - 企業の誘致
 - サテライトオフィスの整備

飯田・リニア駅前広場内

次世代モビリティの普及を見据えた駐車場の整備

- **駐車場の在り方（無料/有料）**
- **カーシェアの実施**
- **次世代モビリティの活用**
 - FCバス実証・自動運転への対応 など
- **次世代モビリティ向けインフラの整備**
 - 水素ST・ソーラーカーポート
- **次世代モビリティの展示**

元善光寺の賑わい創出に向けた整備

- **善光寺のような横町の賑わい創出**
- **元善光寺との移動面での連携**
 - 飯田・リニア駅との連絡バス運行など交通面での連携
 - 飯田・リニア駅—元善光寺の参道・道路整備

南信地域の賑わい(観光)の起点

- **トランジットハブとしての「道の駅」の機能の具備**
 - 近隣観光地周遊バス等の運行
 - 市内周回バスの運行
 - 飯田線との連携
- **南信州のブランド発信**
- **山岳観光の入口**
- **ホテルの整備**

飯田・伊那谷の賑わい創出

- **飯田・伊那谷ブランドの醸成・創造・発信**
 - 地元特産品の販売（アンテナショップ）
 - 歴史・文化（人形劇等の民俗芸能含む）の展示・解説・実演による発信
 - 伊那谷とリニアが見渡せる眺望台の整備
- **飯田・伊那谷の地域活性化**
 - 創業支援
 - 移住支援

リニア開通に向けた機運の醸成

- **イベント（情報発信）**
 - リニア工事の見学
 - リニア線路歩きツアー
 - リニアトンネルライブ
- **リニアPR施設（博物館）**
 - リニア車両の展示
 - 常駐ガイド
- **工事現場見学塔**

賑わいを支えるグリーンテクノロジー

- **再生可能エネルギー**
 - 太陽光発電
 - バイオマス発電
- **次世代エネルギー**
 - 駅舎の電力供給等の水素の利活用
- **水循環**
 - 雨水・河川水による水循環システム実証

地域の人の賑わい創出（6.5ha外）

- **住環境（マンション等）の整備**
- **市民ホールなど文化施設の整備**
- **日常の買い物ができる商業施設の整備**

地域の人の賑わい創出（6.5ha内）

- **豊富な飲食店による賑わい**
 - カフェ(ex.スターバックス)の運営
 - キッチンカー等による特産物の販売
 - シードルスタンドの設置
- **充実した小売サービスによる賑わい**
 - 農家と連携した産直(マルシェ)の運営
 - イオン等のショッピングモールとの連携
- **イベント実施による賑わい**
 - 焼肉フェス・キッチンカーフェス・防災フェス・巨大獅子舞 など

- **憩いの場の整備**
 - 雨天時でも子供が遊べる施設の整備
 - 「杜」をコンセプトとした建物の整備
 - コワーキングスペースの整備
- **全天候型イベントスペース**
- **子どもたちが様々な「遊び」ができる広場の整備**
 - バスケットコート・ジョギングコース など
- **防災施設・避難施設としての側面の整備**
- **イルミネーション・プロジェクションマッピングの実施**

6.飯田・リニア駅前広場プラットフォーム会員登録のご案内

- 「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」は会員を募集しております
- 管理・運営事業体への参画にはプラットフォームへの会員登録が前提となる他、来年度実施を予定している事業者向けWGはプラットフォーム会員いただいている方を対象にご案内させていただきます
- 会員登録は随時承っているので、以下フォームよりご登録をお願いいたします

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 概要

1. 名称：
飯田・リニア駅前広場プラットフォーム
2. 目的：
市民や地元事業者等の多様な関係者が自由に参加し、飯田・リニア駅内での管理運営事業体の設立・運営に向けた議論の他、飯田・リニア駅を中心とした飯田・下伊那地域の活性化に寄与する取組の創出を促す「エコシステム」の形成を目指す
3. 会員：
本プラットフォームの目的に賛同する「個人会員」と「企業・団体会員」によって組織する
4. 年会費：
無料
5. 会員登録方法：
Google Forms（下記URLもしくはQRコード）からの登録
<https://forms.gle/6pc81JvsiMWJHe978>
6. その他：
具体の運営方法については決まり次第、ご案内する
7. 事務局：
飯田市リニア推進部リニア整備課、株式会社NTTデータ経営研究所



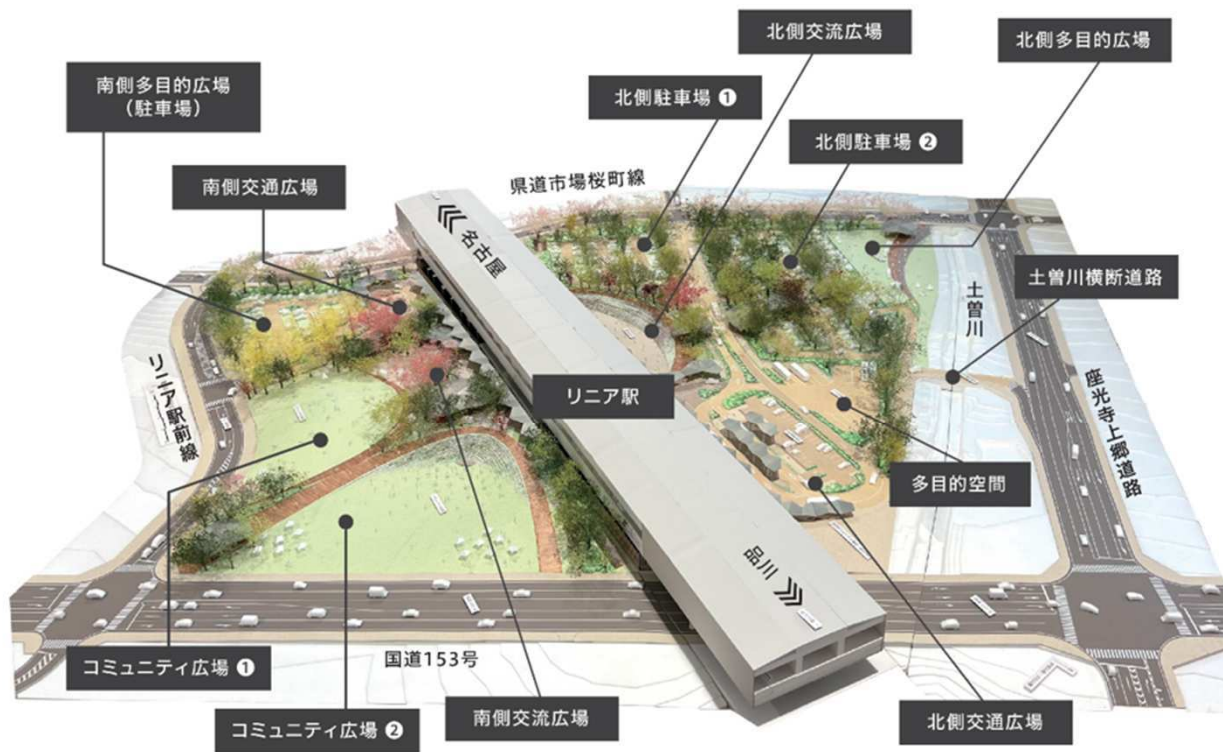
注：「ながの電子申請」から第2回会議(本日)に参加手続きを実施いただいた方については、「登録を希望しない」にチェックを入れられた方を除き、会員として登録させていただいております

皆さまのご登録をお待ちしております

NTT data

株式会社NTTデータ経営研究所

飯田・リニア駅前広場の 一部供用開始に向けて



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージです。

これまでの検討経過

- ・ 2014年 リニア駅前空間の整備コンセプトの検討開始
- ・ 2015年 リニア駅周辺整備基本構想策定
- ・ 2017年 リニア駅周辺整備基本計画策定
- ・ 2019年 基本設計の成果として
『飯田・リニア駅前空間デザインノート』発行
- ・ 2022年 リニア駅前空間にかかわる実施設計公表（土木関係）



『飯田・リニア駅前空間デザインノート2024』の発行



整備方針

リニア駅前空間の考え方

リニア駅前空間は、次の基本理念と整備コンセプトをもとに設計されています。

リニア駅周辺整備区域が目指す姿（基本的な理念 | 基本構想より）

ローカル

グローバル

ゲートウェイ

信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口

整備コンセプト（基本計画より）

機能的でコンパクトな駅空間

高度なトランジットハブの形成により

スムーズな乗換えを実現

信州・伊那谷らしさを感じられる駅空間

来訪者へのおもてなしを実現

自然との調和を目指した駅空間

豊かな自然環境に配慮し

環境モデル都市飯田を実現

地域と一体化した駅空間

地域の一体化を実現

設計方針

- ◆ アクセスやバリアフリーに優れた駅前空間
- ◆ 住民や来訪者の居場所となる駅前空間
- ◆ 伊那谷の風景の魅力を引き出す駅前空間
- ◆ 人のつながりと伊那谷全域へといざなう駅前空間
- ◆ 時代を先取りし、変化に対応できる駅前空間

結いの広場 ～リニア駅前空間の考え方～

（飯田・リニア駅前空間デザインノートより）

リニア駅前空間は、地域の自然や歴史、文化を感じながら、新たな交流と活力を育むことができる場所、南信州の風景と暮らしをつなぐやわらかな結び目「結いの広場」をコンセプトに掲げています。



01 リニア駅

02 リニア駅とアクセス

03 北側交通広場

04 南側交通広場

05 多目的空間と次世代モビリティ

06 駐車場エリア

07 北側交流広場

08 南側交流広場



09 コミュニティ広場①②

10 多目的広場

11 高架下空間

12 グリーンインフラ

13 ピークシフト

14 水引ラインと緑化駐車場

15 大屋根

16 ゼロカーボン

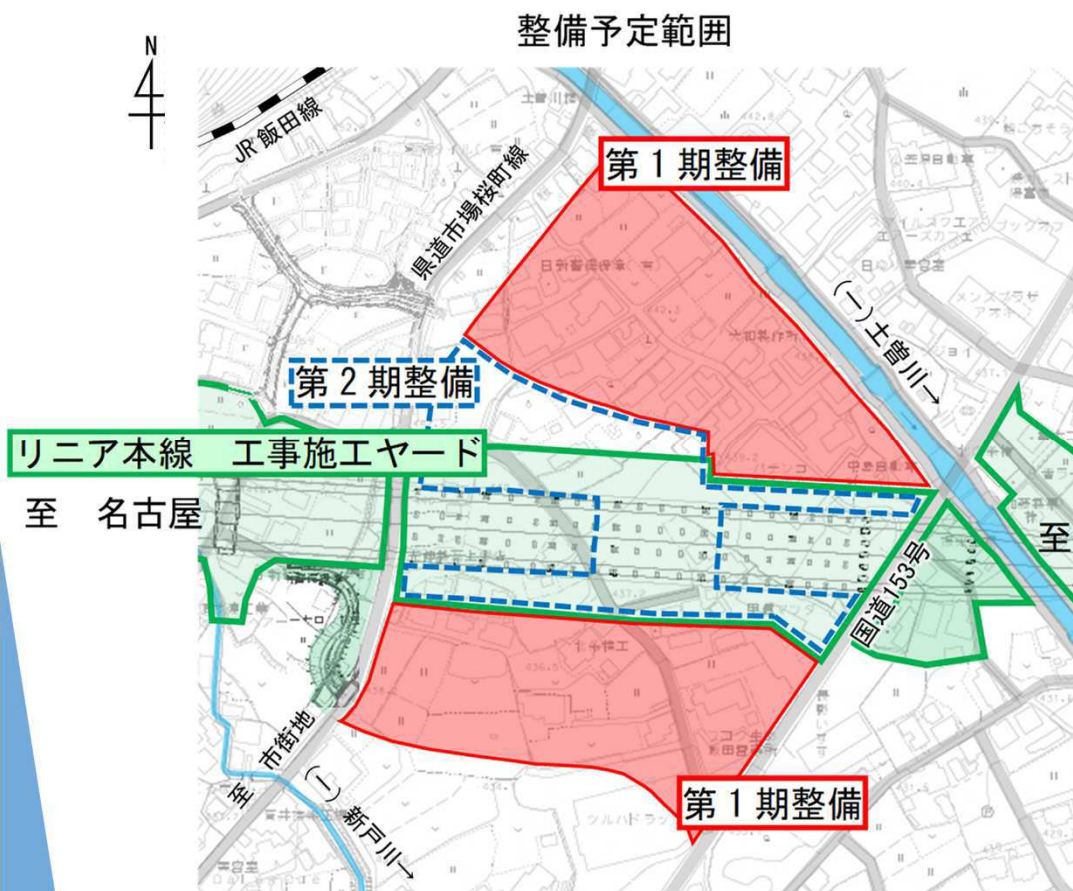
17 景観

※駅舎・駅入出場口については、JR東海提供資料を参考に飯田市にて加筆しています。

※横断歩道等の路面標示については、公安委員会の許可を得たものではありません。

飯田・リニア駅前空間デザインノート2024より

今後の整備予定について



令和7年2月27日 飯田市議会全員協議会資料

○リニア開業延期は発表されましたが、お譲りいただいた土地を有効に活用するため、リニア本線工事の影響を受けず令和9年度までに整備可能な範囲については「第1期整備」とし、令和10年度からの一部供用開始を目指して整備を進めます。

○リニア本線工事の影響で整備が困難な範囲については「第2期整備」とし、リニア本線工事の進捗に合わせて工事時期を検討していきます。

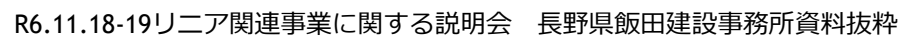
品川

年度	H30-R4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	開業前の
		2023	2024	2025	2026	2027		2028
内容	第 1 期整備						第 2 期整備	
	用地物件補償	用地協議	契約	移転	用地取得		一部 供用 開始	用地取得
道路・広場整備	設計	埋蔵文化財調査	工事			工事		
木造大屋根		設計	木材調達	工事		設計 工事		
広場内施設	施設規模の検討	設計	工事			設計 工事		
	(広場管理棟、屋外トイレ等)							(高架下施設等)
広場活用		PF 構築に向けた検討	運営方針決定	事業体設立			2 期分検討	

第 1 期整備完了

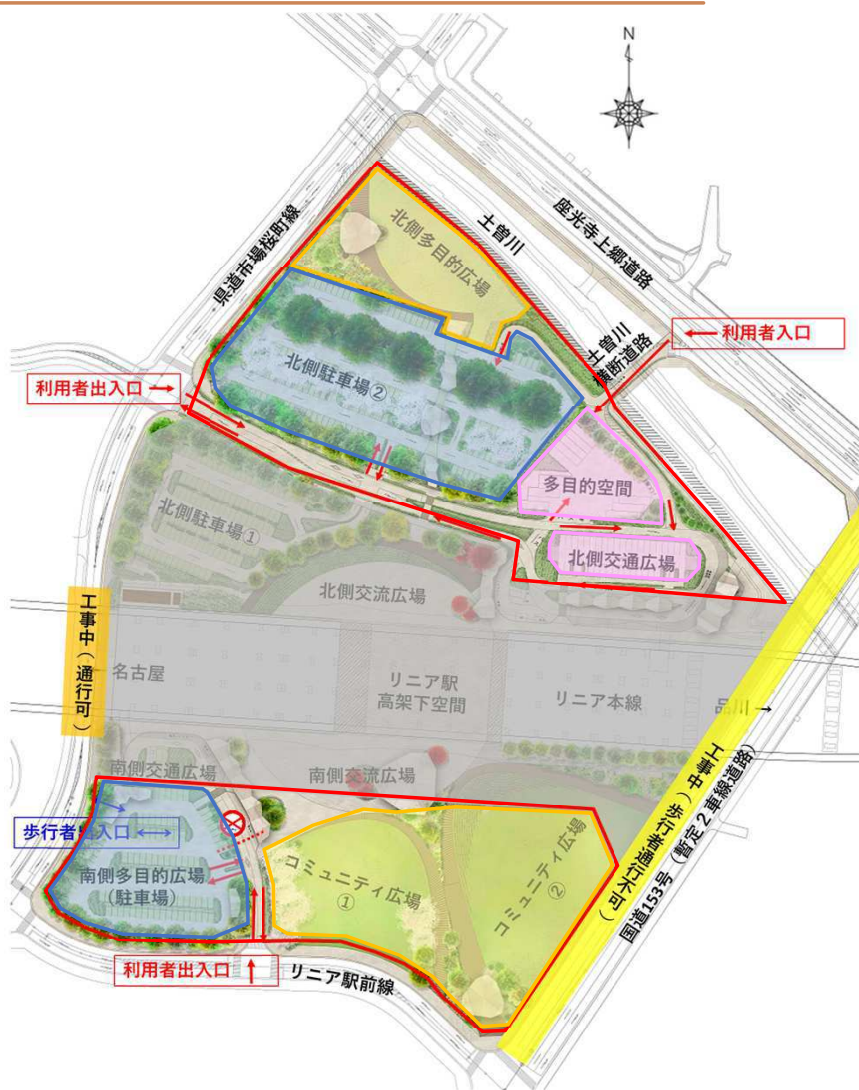
リニア開業

令和9年度(2028年3月)時点での状況



一部供用開始について

■ 2028年度にリニア本線工事影響範囲を除いた赤枠部分の供用開始を予定しています。



■ 北側広場 敷地面積 約22,000㎡

□ 北側多目的広場

広場面積：約3,500㎡

仕上げ：ウッドデッキ及び緑化された広場

- ・ 木造大屋根(約250㎡)整備
- ・ 屋外トイレ整備
- ・ 臨時駐車場も兼ねたフレキシブルな活用も想定

□ 北側駐車場②

駐車場面積：約8,500㎡

仕上げ：駐車区画は緑化舗装、車道はアスファルト舗装

- ・ 木造大屋根(約80㎡、120㎡、60㎡) 3箇所整備
- ・ 駐車場台数約220台

□ 多目的空間、北側交通広場の一部

広場面積：約4,500㎡

仕上げ：アスファルト舗装

- ・ 多目的空間は将来的には大型バスや次世代モビリティでの活用を想定
- ・ 北側交通広場駐車場台数約35台

■ 南側広場 敷地面積約 約16,000㎡

□ 南側多目的広場(駐車場)

駐車場面積：約4,000㎡

仕上げ：駐車区画は緑化舗装、車道はアスファルト舗装

- ・ バイク駐輪場屋根(約60㎡)整備
- ・ 通路型木造大屋根(約150㎡)整備
- ・ 駐車場台数約115台、バイク駐輪場約9台

□ コミュニティ広場①・②

広場面積：約9,500㎡

仕上げ：ウッドデッキ及び緑化された広場

- ・ 木造大屋根(約250㎡)整備
- ・ コミュニティ広場①へコミュニティ施設を備えた管理棟
- ・ コミュニティ広場②は大雨時の調整池を兼ねたなだらかな窪地形状

一部供用開始に向けたインフラ整備について(公共建築物)



木造大屋根整備箇所

■地域産木材を活用した木造大屋根を建設します。

- ・北側多目的広場：約250㎡
- ・北側駐車場②：約80㎡、約120㎡、約60㎡
- ・南側多目的広場(駐車場)：バイク駐輪場約60㎡、通路型約150㎡
- ・南側コミュニティ広場：約250㎡

コミュニティ施設を備えた管理棟整備予定箇所

■コミュニティ広場①に地域の皆様が日常的にご活用いただける、コミュニティ施設を備えた管理棟の建設を予定しています。

屋外トイレ整備予定箇所

■北側多目的広場の活用に必要な屋外トイレの建設を予定しています。

- ・南側は管理棟と一体的な整備を想定

一部供用開始に向けたインフラ整備について(上下水道設備)

上下水道引込想定位置



■ 北側屋外トイレ及び南側管理棟付近に上下水道設備を引き込みます。

■ リニア開業時は、南側設備をリニア駅高架下空間まで延長する予定です。

■ 各エリアで必要な上下水道設備は今後の活用に合わせて整備を検討していきます。

① : 管理棟整備予定箇所

② : 屋外トイレ整備予定箇所

上下水道引込想定位置

一部供用開始に向けたインフラ整備について(電気設備)



■ 木造大屋根の照明を基本としつつ、各所に外灯及び足元灯を設置します。

■ 受電(電気の引込み)は北側屋外トイレ、南側管理棟付近で行います。

■ 一部供用開始時は架空線での受電となりますが、開業時は電線共同溝により無電柱化(埋設)される予定です。

■ この他各エリアで必要な電源設備は今後の活用に合わせて整備を検討していきます。



これまでのプラットフォーム会議でいただいたご意見

飯田・リニア駅前広場外

教育機関・事業者の賑わいの拠点

- 教育機関の賑わい
 - 教育機関（小中高大）の誘致
 - 実証事業の実施
- 事業者の賑わい
 - 企業の誘致
 - サテライトオフィスの整備

飯田・リニア駅前広場内

次世代モビリティの普及を見据えた駐車場の整備

- 駐車場の在り方（無料/有料）
- カーシェアの実施
- 次世代モビリティの活用
 - FCバス実証・自動運転への対応 など
- 次世代モビリティ向けインフラの整備
 - 水素ST・ソーラーカーポート
- 次世代モビリティの展示

元善光寺の賑わい創出に向けた整備

- 善光寺のような横町の賑わい創出
- 元善光寺との移動面での連携
 - 飯田・リニア駅との連絡バス運行など交通面での連携
 - 飯田・リニア駅—元善光寺の参道・道路整備

南信地域の賑わい(観光)の起点

- トランジットハブとしての「道の駅」の機能の具備
 - 近隣観光地周遊バス等の運行
 - 市内周回バスの運行
 - 飯田線との連携
- 南信州のブランド発信
- 山岳観光の入口
- ホテルの整備

飯田・伊那谷の賑わい創出

- 飯田・伊那谷ブランドの醸成・創造・発信
 - 地元特産品の販売（アンテナショップ）
 - 歴史・文化（人形劇等の民俗芸能含む）の展示・解説・実演による発信
 - 伊那谷とリニアが見渡せる眺望台の整備
- 飯田・伊那谷の地域活性化
 - 創業支援
 - 移住支援

リニア開通に向けた機運の醸成

- イベント（情報発信）
 - リニア工事の見学
 - リニア線路歩きツアー
 - リニアトンネルライブ
- リニアPR施設（博物館）
 - リニア車両の展示
 - 常駐ガイド
- 工事現場見学塔

賑わいを支えるグリーンテクノロジー

- 再生可能エネルギー
 - 太陽光発電
 - バイオマス発電
- 次世代エネルギー
 - 駅舎の電力供給等の水素の利活用
- 水循環
 - 雨水・河川水による水循環システム実証

地域の人の賑わい創出(6.5ha外)

- 住環境（マンション等）の整備
- 市民ホールなど文化施設の整備
- 日常の買い物ができる商業施設の整備

地域の人の賑わい創出(6.5ha内)

- 豊富な飲食店による賑わい
 - カフェ(ex.スターバックス)の運営
 - キッチンカー等による特産物の販売
 - シールドスタンドの設置
- 充実した小売サービスによる賑わい
 - 農家と連携した産直(マルシェ)の運営
 - イオン等のショッピングモールとの連携
- イベント実施による賑わい
 - 焼肉フェス・キッチンカーフェス・防災フェス・巨大獅子舞 など
- 憩いの場の整備
 - 雨天時でも子供が遊べる施設の整備
 - 「杜」をコンセプトとした建物の整備
 - コワーキングスペースの整備
- 全天候型イベントスペース
- 子どもたちが様々な「遊び」ができる広場の整備
 - バスケットコート・ジョギングコース など
- 防災施設・避難施設としての側面の整備
- イルミネーション・プロジェクションマッピングの実施

凡例

- : 飯田・リニア駅前広場内に係る項目
- : 二次交通など広場内—広場外にまたぐ項目
- : 飯田・リニア駅前広場外に係る項目



- 官民連携での設置を想定している「賑わい創出施設」については、敷地形状や管理棟との連携等を考慮し、コミュニティ広場①での建設を想定しています。
- 一部供用開始時以降も、リニア開業時に向け、徐々に発展、賑わいを創出しながら、可変性を備えた施設計画を想定しています。
- その他のエリアについては、仮設での賑わい創出施設も想定されます。
- 施設のデザインは、駅前広場全体と調和のとれたものとします。

賑わい創出に向けた施設整備及び広場活用について

■ワークショップでは一部供用開始に向け、公共施設及び賑わい創出施設等の建設を踏まえながら、賑わい創出に向けた検討を行います。

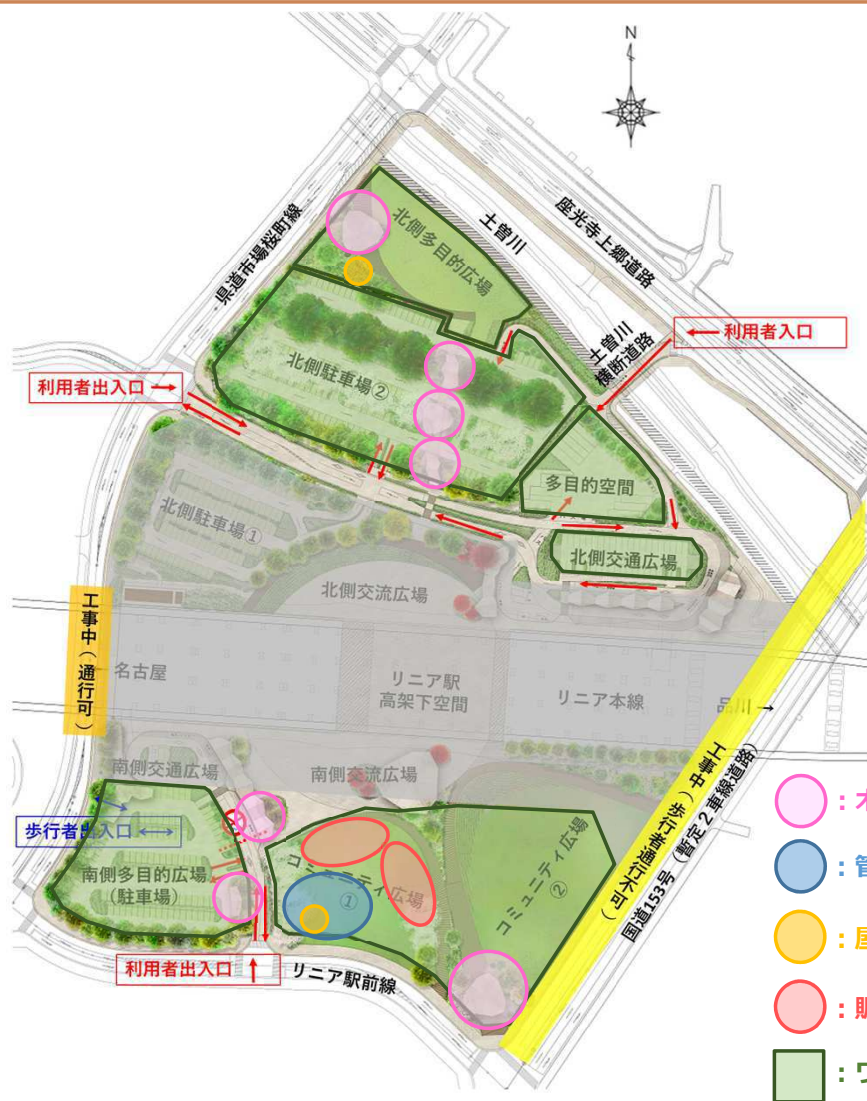
■検討にあたっては以下の3つの視点を大切にしていきます。

駅前広場の賑わいの創出

地域経済の好循環

まち全体を見るなかで
駅前広場が持つべき機能

■広場整備については好循環を生み出す仕組みを目指します。



- : 木造大屋根整備箇所
- : 管理棟整備予定箇所
- : 屋外トイレ整備予定箇所
- : 賑わい創出施設建設想定エリア
- : ワークショップ検討エリア

プラットフォームが目指す駅前広場整備の好循環



一部供用開始時の広場活用及び施設イメージ

■ 地域に開かれた多目的広場

- ・ 地元農家と連携したマルシェ
- ・ キッチンカーフェス
- ・ シードルフェス
- ・ 焼肉フェス



■ 成長する賑わい創出施設

- ・ チャレンジショップ
- ・ 地域特産品販売
- ・ 飲食、物販



■ 地域とつながる コミュニティ施設を備えた管理棟

- ・ 多目的スペース
- ・ 会議スペース



■ その他の活用

- ・ イベント開催(人形劇、獅子舞等)
- ・ 遺跡の保存、展示
- ・ 再生可能エネルギー活用(水素・太陽光等)
- ・ アーバンスポーツ(スケートボード等)
- ・ ジョギングコース
- ・ 伝統芸能の情報発信



■ 自然を感じるコミュニティ広場

- ・ 自然の遊び場
- ・ 地域産木材を使った木育
- ・ 伊那谷らしい眺望

